

● 専門的でマニアックな情報満載、読んで楽しめる事典 ●

# プロ格闘技年表事典

## —プロレス・ボクシング・大相撲・総合格闘技

小泉 悦次 編 A5・650頁 定価(本体13,500円+税) ISBN978-4-8169-2722-5 2018年6月刊行

- 世界のプロ格闘技(プロレス・プロボクシング・大相撲・総合格闘技)の歴史を年表形式でたどる事典です。
- 20世紀の重要事項6,133件を収録。“前史”として「古代～中世」「近世」「近代」における格闘技の歴史を、“現代史”として競技、団体の枠が外れ混沌の時代を迎えた「21世紀以降」の動向を解説。
- 「人名索引」付き。

### ■ 編者プロフィール ■

小泉 悦次 こいずみ・えつじ

サラリーマンの傍ら、1996年よりメールマガジンにてプロレス史の記事を配信。プロレス史研究を深化させるにつれて、ボクシング史、相撲史、サーカス史など隣接領域の研究も進める。プロレス文壇デビューは2002年春の「現代思想・総特集プロレス」(青土社)。2009年よりプロレス雑誌「Gスピリッツ」にプロレス史記事をレギュラーで寄稿、現在に至る。

### ■ 収録項目例 ■

相撲	1901年	1月10日	優勝：常陸山(東関脇)
ボクシング	1901年	3月18日	〈世界バンタム〉ハリー・ハリスがベドラン・パルマーを破り、獲得。
その他	1920年	6月3日	〈異種格闘技〉柔道半分、プロレス半分の試合。
相撲	1923年	5月20日	待遇改善要求をきっかけに、年寄・力士が二手に分かれ、大量の引退者を出した。
ボクシング	1933年	7月3日	〈日仏対抗戦フェザー〉ピストン堀口がエミール・プラドネルと8R判定、引き分ける。
相撲	1939年	1月15日	双葉山が安芸ノ海に敗れ、連勝が69で止まる。
相撲	1945年	11月17日	【(両国国技館改め)】優勝：羽黒山(西横綱)10勝0敗。
プロレス	1951年	3月17日	〈英国デビュー〉カール・イスタス(カール・ゴッチ)がアルフ・ロビンソンを破る。
ボクシング	1952年	5月19日	〈世界フライ〉白井義男がダド・マリノに判定勝ち、獲得。
プロレス	1954年	2月19日	力道山が「日本プロレス」旗揚げ。
相撲	1954年	10月3日	優勝：栃錦(東大関)14勝1敗。
プロレス	1960年	9月30日	〈デビュー〉馬場正平(ジャイアント馬場)、猪木完至(アントニオ猪木)。
ボクシング	1960年	10月29日	〈デビュー〉カシアス・クレイ(モハメド・アリ)。
相撲	1961年	10月	大鵬幸喜、第48代横綱に。
プロレス	1965年	7月16日	〈ワンナイトタッグトーナメント決勝〉ミル・マスカラスがデビュー。
その他	1968年	9月30日	TBSテレビが「YKKキックボクシング中継」を始める。
ボクシング	1971年	10月31日	〈世界スーパーウェルター〉輪島公一(輪島功一)がカルメロ・ボッシを破り、獲得。
ボクシング	1981年	9月16日	〈WBAvsWBC世界ウェルター〉シュガー・レイ・レナードがトーマス・ハーンズに勝利。
プロレス	1982年	1月28日	〈WWFジュニアヘビー〉タイガーマスク(佐山聡)がダイナマイト・キッドを破り、防衛。
相撲	1991年	5月14日	夏場所3日目、横綱千代の富士は貴闘力に敗れ、引退を表明。
ボクシング	1994年	11月5日	〈WBA世界&IBF世界ヘビー〉ジョージ・フォアマンがマイケル・モラーを破り、獲得。
その他	1997年	10月11日	高田延彦がヒクソン・グレイシーに敗れる。
その他	1997年	11月19日	「K-1 Grand Prix '97 Final」アーネスト・ホーストがアンディ・フグを破り、優勝。

裏面に  
内容見本あり

2018.5

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <http://www.nichigai.co.jp/>

■ 貴店名

注文書

プロ格闘技年表事典

—プロレス・ボクシング・大相撲・総合格闘技

定価(本体13,500円+税) ISBN978-4-8169-2722-5

冊



9784816927225

## 〈1982年〉

- プロレス** 3月7日 【シャーロット NC】 < UN > ジャンボ鶴田がトミー・リッチと両者リングアウト、防衛。 < NWA 世界ジュニアヘビーインターナショナル > 大仁田厚がチャボ・ゲレロを破り、獲得。新日本から引き抜いたチャボ・ゲレロがドス・カラスと引き分け、防衛。
- プロレス** 3月7日 【アトランタ GA】 < PWF ヘビー > ジャイアント馬場がテリー・ゴディを破り、防衛。
- レスラー** 3月7日 【大仁田厚】 (生) 1957 (出生地) 長崎 (主要王座) インターナショナルジュニアヘビー (初) 1974 1980年代後半、プロレスがソフィストケイトされる中で、縁日的なアセチレングスの匂いを復活させた。84年の全日本プロレス時代、膝を痛めて一度引退。89年、FMWを設立。「反則」がルール内にあるプロレスにおいてさえも「邪道」な存在。しかし、90年代多くの一般人が会場に足を運び、共感と怒号の嵐を作り出したのは事実である。
- ボクシング** 3月20日 【タンピコ (墨)】 < WBC 世界フライ > プルデンシオ・カルドナがアントニオ・アベラルを破り、獲得。
- ボクシング** 3月26日 【パナマシティ】 < WBC 世界ライトフライ > アマド・ウルスアがイラリオ・サパタを破り、獲得。
- 相撲** 3月28日 【大阪府立体育館】 優勝: 千代の富士 (西横綱) 13勝2敗、技能賞: 出羽の花 (東関脇)、殊勲賞: 出羽の花 (東関脇)、敢闘賞: 麒麟児 (東前5)
- プロレス** 4月1日 【東京・蔵前国技館】 「MSG リーグ」 < 決勝 > アンドレ・ザ・ジャイアントがキラー・カーンを破り、優勝。アントニオ猪木は前日名古屋でのディック・マードック & ダスティ・ローデス戦 (パートナーは藤波辰巳) 負傷で決勝を棄権しカーンが決勝に進出した。 < WWF ジュニアヘビー > タイガーマスク (佐山) がステイブ・ライトを破り、防衛。 (新日本)
- ボクシング** 4月4日 【仙台・宮城県スポーツセンター】 渡嘉敷勝男がルベ・マデラを破り、獲得。
- ボクシング** 4月8日 【大阪府立体育館】 < WBA 世界スーパーフライ > フェエル・ペドロサを破り、獲得。
- ボクサー** 4月8日 【渡辺二郎】 (生) 1955 (出生地) 大分、WBC 世界スーパーフライ、WBC 世界ライトフライ、WBC 世界ライトフライで攻守ともにパーフェクトなボクサーであったが、WBA は統一戦の開催を拒否した。渡辺はプンタラットに勝利し王座を獲得、以後、WBC 王者と目される。
- プロレス** 4月11日 【グアダラハラ (墨)】 < NWA 世界ジュニアヘビー > サングレ・チカナが

20世紀以降、  
プロ格闘技の  
重要事項を網羅

日本国内の大試合が  
世界プロ格闘技史の中で  
どのような位置付けなのかが  
わかる

- ボクシング** 4月13日 【東京・後楽園ホール】 < WBC 世界ライトフライ > 友利正がアマド・ウルスアを破り、獲得。
- ボクサー** 4月13日 【友利正】 (生) 1959 (出生地) 沖縄 (主要王座) WBC 世界ライトフライ (初) 1978 俳優顔負けのルックスを持つ美男子ボクサー。「具志堅二世」と呼ばれたが負けが混み、三迫仁志会長は精神面を鍛え直すため、知り合いの僧侶のいる寺院に預ける。82年4月、WBC 世界ライトフライ級王者アマド・ウルスアの初防衛に挑戦、2-0の判定で王座を奪取した。しかし、7月、イラリオ・サパタに1-2の判定負けで陥落し、11月のリマッチではTKO負け、引退した。まだ22歳であった。
- プロレス** 4月16日 【福岡・国際センター】 「チャンピオンカーニバル」 < 決勝 > ジャイアント馬場がブルーザー・プロディに反則勝ち、優勝。レフェリー、ルー・テーズ。 (全日本)
- プロレス** 4月17日 【大分・荷揚町体育館】 < インターナショナル > ドリー・ファンク・ジュニアがテッド・デビアスを破り、防衛。 (全日本)
- プロレス** 4月21日 【大阪府立体育館】 < インターナショナル > ブルーザー・プロディがドリー・ファンク・ジュニアを破り、獲得。 (全日本)
- プロレス** 4月21日 【東京・蔵前国技館】 < WWF ジュニアヘビー > タイガーマスク (佐山) がブラック・タイガー (マーク・ロコ) と両者リングアウト引き分け、防衛。試合中の負傷により王座は返上。 (新日本)
- プロレス** 4月22日 【東京都体育館】 < PWF ヘビー > ジャイアント馬場はスタン・ハンセンと両者リングアウト、防衛。 < UN > ジャンボ鶴田はハーリー・レイスとノーコンテスト、防衛。ドリー・ファンク・ジュニア & テリー・ファンクはブルーザー・プロディ & ジミー・スヌーカに反則勝ち。 (全日本)
- プロレス** 4月24日 【シカゴ II】 < AWA 世界ヘビー > ニック・ボックウインクルがハルク・ホーガンに反則勝ち、防衛。
- プロレス** 4月26日 【ニューヨーク NY・MSG】 < WWF ヘビー > ボブ・バックランドはジミー・スヌーカに反則負け、防衛。試合後、ボブはスヌーカにスーパーフライをきめられ、担架で退場。
- プロレス** 4月30日 【メキシコシティ・アレナメヒコ】 < NWA 世界ジュニアヘビーインターナショナル > 大仁田厚がサングレ・チカナを破り、獲得。
- ボクシング** 5月1日 【メリダ (墨)】 < WBA 世界フライ > サントス・ラシアルがファン・エレラを破り、獲得。
- ボクシング** 5月8日 【ラスベガス NV】 < WBA 世界ライト > レイ・マンシーニがアルツロ・フリアスを破り、獲得。